

おうらまち

議会だより



平成23年 **8月臨時会・9月定例会**

長柄小学校運動会

平成22年度決算認定される（一般会計・各特別会計）

平成23年度補正予算可決（一般会計・各特別会計）

一般質問 【10人の議員が町の考えを問う】

田部井健二議員、本間恵治議員、原 義裕議員、松村 潤議員
神谷長平議員、坂井孝次議員、小沢泰治議員、塩井早苗議員
大野貞夫議員、小島幸典議員

- 可決された議案…………… 3～4
- 決算質疑…………… 4
- 一般質問…………… 5～13
- わたしのふるさと等…………… 13～14

No129

平成22年度の決算を認定

一般会計歳入総額82億9,746万円

歳出総額75億3,988万円

町税収入37億8,274万円（歳入総額の45.6%）



整備が進む町道幹線6号線

9月定例会

9月定例会では、平成22年度の一般会計決算をはじめ、各特別会計の決算が提出されました。各常任委員会において審査を行い15日の本会議で各会計ともそれぞれ認定されました。

平成22年度の一般会計決算額は、前年度と比較して歳入が6億3315万円の減となりました。地方交付税、町債が増加した一方、繰入金、国庫支出金は大幅な減となりました。町債の増は、臨時財政対策債が1億9000万円増加したこと等によります。繰入金の減は、庁舎建設基金条例の廃止による繰入れ6億2758万円が昨年度限りであり、国庫支出金の減も、定額給付金給付事業費補助金4億1708万円が昨年度限りであったことによります。

歳入においては、37億8274万円であり、歳入総額の45.6%となりました。なお、町税については、3235万円の不納欠損処理が行われ、収入未済額も3億7000万円余りに達しています。税は貴重な収入源であり、その滞納は、住民の税負担の不公平感につながる、極めて重大な問題です。平成22年度においては、昨年度に引き続き、管理職による徴収チームの編成や収納のための特別窓口の開設など、さまざまな努力が行われました。徴収率の向上に向け、なお一層取り組みを強められるよう要望いたします。

歳出においては、予算現額82億479万円に対し、決算額は75億3988万円で、執行率は91.9%となっており、昨年度と比較して9億5425万円の減となっています。減少の主な要因は、定額給付金4億1708万円や町税過誤納金還付金及び加算金8381万円など総務費の減、学校給食センター建設に係

る繰出金4億163万円の減など教育費の減等です。投資的経費は、前年度比26・5%の減となっています。平成22年度の事業としては、町道幹線6号線及び同3号線整備事業などに取組み、継続的事業としては、町道整備事業、用悪水路の改修事業、公園整備事業、土地区画整理事業等の生活環境整備事業の推進がなされました。また、平成22年度の特徴的な事業として、土地開発基金からの公共用地1万612㎡、1億4673万円の買い戻しがありました。

方で、少子高齢化の進展により、扶助費を中心に財政需要が増大していくことは明らかです。引き続き、各事業運営の効率化をより一層推進されるよう要望します。限られた予算の中では、老朽化が進む公共施設や町有設備の維持・更新、区画整理事業等の長期にわたる事業については、重要度や緊急性を考慮しながら、年次的・計画的に整備や見直しを進めていくことが大切です。この点について、中長期的な見通しに基づき、庁内外の合意形成に向けた取り組みを進められるよう要望します。

なお、予算・職員数ともに減少傾向にある今日、限られた財源を最大限に生かすためにも、一人ひとりの職員の力量をより高めていくことが、極めて重要になつていきます。また、組織を簡素化し、効率的な事務事業の執行ができるシステムを構築することも欠かせません。これらの問題についても、積極的に改善の取り組みを強めるよう要望するものです。

(決算審査意見書抜粋)

■平成22年度決算額

会 計 別	歳入総額	歳出総額	差 引 額
一 般 会 計	82億9,745万9,686円	75億3,988万4,950円	7億5,757万4,736円
国民健康保険特別会計	32億3,517万0,449円	30億0,160万4,383円	2億3,356万6,066円
老人保健特別会計	1,209万9,277円	1,209万6,571円	2,706円
後期高齢者医療特別会計	1億7,887万7,746円	1億7,533万8,714円	353万9,032円
介護保険特別会計	14億9,640万4,224円	14億8,942万9,222円	697万5,002円
下水道事業特別会計	3億7,177万0,300円	3億5,653万5,529円	1,523万4,771円
学校給食事業特別会計	7億3,016万7,207円	7億2,977万7,981円	38万9,226円
水 道 事 業 会 計	5億0,664万8,333円	4億7,422万4,018円	3,242万4,315円 (当年度純利益)

可決された議案

8月臨時会

〔人事案件〕

■教育委員の任命

教育委員会の委員について、大竹喜代子さん(鶴)を任命することに同意しました。

9月定例会

〔条例改正等〕

■邑楽町税条例の改正

地方税法等の改正に伴い条例を改正しました。

■邑楽町立学校給食センターの設置及び管理等に関する条例の改正

新しい学校給食センターの完成に伴い、住所地番を変更しました。

■町道の路線認定及び廃止

東毛広域幹線道路の整備等により、町道の路線認定及び廃止をしました。

■邑楽町長の給与の特例に関する条例

定例会提出案件のうち2件の否決を受け、提出者として責任をとるため、町長給与を1カ月間、現支給額から20%削減することになりました。

〔報告〕

■平成22年度健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき健全化判断比率等が報告されました。

〔人事案件〕

■情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱

平成23年9月30日で任期満了となる情報公開・個人情報保護審査会委員について、高木祥充さん(太田市)、増尾仁一さん(篠塚)、中村詔司さん(藤川)に委嘱することに同意しました。



公平委員の選任

平成23年9月15日で任期満了となる公平委員の選任について、福地 正さん（中野）を再任することに同意しました。

教育委員の任命

教育委員会の委員について、岡田真幸さん（篠塚）を任命することに同意しました。

否決された議案

【条例改正】

邑楽町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の改正

【人事案件】

教育委員の任命

■平成23年度補正予算額

会 計 別	予 算 現 額	補 正 額	予 算 総 額
一 般 会 計	76億0,808万円	6億4,907万円	82億5,715万円
国民健康保険特別会計	27億6,910万円	1億8,112万円	29億5,022万円
後期高齢者医療特別会計	1億8,506万円	354万円	1億8,860万円
介護保険特別会計	15億3,588万円	476万円	15億4,064万円
下水道事業特別会計	3億4,387万円	1,488万円	3億5,875万円
学校給食事業特別会計	7億2,414万円	△50万円	7億2,364万円

9月定例会

決算質疑

Q & A

決算の主な質疑（要旨）

一般会計、各特別会計の決算にあたり、行政効果などについて質疑が行われました。

平成22年度決算書と行政実績報告書



Q 本間恵治議員 町税の滞納繰越が多い。行政はどんな対応をしているのか。

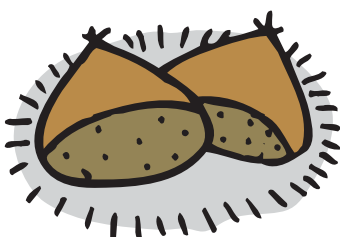
A 町長 適正な課税、適正な徴収に努めている。

Q 本間恵治議員 税の公平性から平等に納めることが原則である。課税方法を見直す考えがないのか。

A 町長 今後検討する。

Q 神谷長平議員 今年度の職員採用予定者は、何人くらいを考えているのか。

A 町長 一般事務職と幼稚園教諭及び保育園保育士の専門職に限り、採用を考えている。人数については、勧奨退職者の申し入れが不確定だが、全退職者よりも少なく、若干名になる。



一般質問

一般質問は、9月7日及び8日に行われました。質問には、10人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

町長の政治姿勢について

田部井健二議員 町長の退職金に係る問題である。あなたは、町長選挙にあたり、「私が町長に就任すれば退職金は0円です。1円もいただきます。」と約束をして、今の立場があると思う。そのあなたが、任期最後の定例会にあなたの口から、「私の退職金満額いただきたい。1493万4400円、1円も余さずいただきたい。」という提案が昨日の議会で否決をされた。それを受けての心境を聞きたい。

町長 先ほどもおわびの中で申し上げた。私の不徳のいたすところで同意をいただけなかった。現在の心境としては、今後十分意を配して取り組んでいきたい。

田部井健二議員 今町長から不徳のいたすところという答弁があった。私は、何度何度もこういう提案をすること自体が、あなたは間違っている指摘をした。私は、これを議会で審議させること自体が異様なことと思っていた。今でも

議案第30号として提案したことは正当性があり、妥当だったそのような考えか。

町長 妥当かということであれば、これは間違っていたということである。

田部井健二議員 間違っていたということなら、提案をしたこと自体を私は、謝罪をしていただきたい。否決をされたから謝罪するのではなくて、1円もいただか

ないと言った、あなたが全額欲しいと、これを求めること自体がおかしかったのである。

認識が間違っていた

町長 先ほども申し上げた。提案ということについての認識が間違っていた。その点について、深くおわび申し上げたい。

町長の行政に対する考え方について

の本間の全員協議会があるのではないのか。調整がとれないまま本会議に提案するとは言語道断である。町長としてはさらにやる気持ちがあるのであれば、心を改め謙虚に腹を割って相談するべきだと思う。自分で思ったことをただ貫くことが正しいとは思わない。1人で考えるより2人、2人より3人、その中で一つの方向性を見出すほうが、間違い

本間恵治議員 予算においては当初予算の撤回。町長の問責決議案も可決。教育委員の名前を出し、結果的には、その方を議会で審議されないうまま取り下げてしまった経過もある。人を選ぶ場合、全会一致で議会の同意を得るのが前提であり、今までの歴代町長はそのようにやってきた。これが1票差で可決や否決。そういうものではないと思う。そ

ない確固たるものができると思う。一つの過ちがあれば、勇気を出してそれを取り消す。謝罪する中で次のステップを踏むのが当然である。町長は必ず何か質問で不都合なことがあると、今まではまずかったけれど、これからは一生懸命やるからという言い方で逃げてしまふ。間違ったことがあればその時に反省して、起こらないよう努力をしていかなければ、一つの町としての方向性は見出せない。発案者である町長が言ったことに対して、他の人の意見に耳を傾けるといった政治姿勢が、今の町長には一番欠如している。町民のために一生懸命自分の身をささげ尽くす気持ちがあるのであれば、4年間振り返った時に、町長は議会や自分の部下である課長にどのような接してきたのか。反省の意味で聞きたい。

意見を十分拝聴

町長 平成20年度の当初予算については、否決となり、3カ月間の暫定予算の中で、6月の下旬に20年度の当初予算が可決されてきたことを含め、いろいろ議員の皆さんから叱責をいただいたことはそのとおり。その都度、私自身もその問題について、自分なりに協力をいただくべく努力をした。しかし、結果として多くの問題を今日まで抱えてきたということは事実。その点については素直になりなさいということでもあり、私自身も謙虚な気持ちで運営にかかわってきた。謙虚に受けとめた中でやっていかなければならないと思う。議員のご意見を十分自分の気持ちの意として、町民のためにサービスに努めることが、私たちに課せられた仕事でもあり、ご叱責は真摯に受けとめた中で、今後とも努めていきたい。過去のいろいろな問題等が出されたが、大変申しわけない部分があったかもしれない。おわびをしたい。これを契機に議員皆さんのご意見を十

分拝聴しながら進めていきたいと思う。

その他の一般質問
・教育行政について
・財政について

社会教育の振興について

原 義裕議員 第三次及び第四次総合計画の中で、社会教育振興における青少年健全育成について詳細にあるが、第五次計画では不透明な計画になっている。

町長 不透明な部分があるとの指摘だが、計画は策定部会で協議している。社会教育は、青少年・人権・女性問題等があるため、教育委員会部局だけでなく、一般行政で進める分野が多分に含まれている。第五次計画の中では、第7章第2節「人を大切にしたい町づくり」に、青少年の施策を設けている。説明に行き届かない部分があったかもしれないが、従前の計画と同様に推進していく。

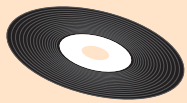
原 義裕議員 子どもや若

者を取り巻く環境は、著しく変わっている。青少年健全育成は各分野に広がっているが、まとめる部署がなければ当然責任転嫁される。第三次及び第四次計画では、「自然環境の中での野外活動体験学習ができる、野外教育施設の早期建設を検討する」と具体的に示している。

町長 生涯学習の中の青少年健全育成を考えると、形として実行しなければ「絵に描いたもち」になる。総合計画に基づいて実行していく体制づくりが必要で、推進努力をしていく。

原 義裕議員 子どもは国の宝・町の宝である。地域、行政及び学校が継続した体験教育ができれば、社会人として常識のある子どもに

至福の時



邑楽町に移り住み30年、昨年サラリーマン生活にピリオドを打ちました。今は暫くご無沙汰していた趣味のオーディオの世界にどっぷり浸かっております。特に、昔懐かしいアナログ機器を愛用しております。

定年まで7年間の海外赴任中、赴任先のオーディオショップのショーウィンドウに展示されていた真空管式アンプに一目ぼれしてしまい、全ての小遣いはたいて衝動買いをしてしまいました。帰国後暫くして我が家に届き、早速オーディオラックに納まりました。

真空管式と言えばやっぱりLPレコードです。古いレコード棚よりレコード盤を引っ張り出し、アナログの世界に浸り、真に「至福の時」であります。

長年地域と疎遠になっていたことを反省し、美しき邑楽町を残しつつ、活気ある住み良い町づくりに、微力ながら貢献したいと思っております。

休憩室

REST ROOM



佐藤 八郎
(谷中蛭沼・11区)

育つ。
町長 青少年健全育成は、大人の仕事である。体験を通して「生きる力」を付けさせることが必要だ。学習の場としてこの議場を使い、子ども議会を実施したこともあり、今後も続けていきたい。

原 義裕議員 社会教育活動を支援する職員の適切な配置について聞きたい。

町長 社会教育を指導する職員は現在2名である。来年度は3名になるが、人数は不足している。行財政改革の名を借りて怠っているわけではない。

原 義裕議員 多額な費用で職員に社会教育主事の資格を取らせ、社会教育施設に配置していない。適材適所ではなく、他の部署の勉強をさせる意味であると思うが、公民館は3館あるもので最低1名は配置すべきだ。
教育長 3名ではまだ足りない。関係部署の職員と今後の方向を検討する。

原 義裕議員 社会参加でできる体験学習の取り組みと宿泊体験できる施設、野外活動施設等の建設計画を聞かせて欲しい。

生きる力は体験から

教育長 今、青少年の「生きる力」が不足している。「生きる力」は体験から培われている。特に、宿泊体験は効果的だ。現時点では、公民館運営審議会から出された内規があり、社会教育施設と町内に事務局を置く社会教育団体が共催する青少年健全育成に資する事業



ボーイスカウトの宿泊体験キャンプ

和を想う

和
ます。

夫のふるさと邑楽町に住んで27年。その間に二人の息子は成人し、孫にも恵まれ、生まれ育った神戸よりここでの生活の方が長くなってきました。
 震災後、自然の風景や動植物に心を惹かれるようになり、多々良沼やタワー周辺の写真を撮り始めました。そして改めて「豊かな自然と季節の移ろいが育んだ日本の『和』の心を次の世代に伝えたい」という気持ちが強くなりました。
 未曾有の大震災、あの凄まじい状況の中で、東北の方々の示された行動は『和』の心を現実に顕し、示して下さったものと感じています。
 夫は板前で日本の食文化の職人として寿司屋を生業とし、長男は大工で木造住宅の建築に携わっています。
 私は書を嗜んでおりますので、ささやかではありますが、和の心の伝統を受け継ぎ、発展させて伝えていければと思います。

休憩室

REST ROOM



高橋 真理子
 (横町化楽・3区)

等に宿泊を許可している。
今後、更なる検討が必要だ。

その他の一般質問
・公園緑地の整備について

熱中症対策について

松村 潤議員 今年の夏は6月下旬より暑い日が続

き、そのため熱中症で救急搬送された人が全国で3万5000人を超え、そのうち46・5%が65歳以上の高齢者であった。邑楽町でも搬送された方が11人もいた。また、患者のうち6割が自宅で発症、この自宅が発症したことが問題である。町のホームページに「熱中症予防7つのポイント」として注意喚起が載っているが、これだけでは不十分だ。ひとり暮らしの高齢者、現場の生の声を届けるため、町長に熱中症対策について緊急要望書を提出した。提出した要望書をふまえ町長の考えを聞きたい。

町長 熱中症の予防対策についての要望をいただいた。行政として、対策に取り

り組んでいる。特に学校教育関係では、幼稚園、小学校、中学校に指導を行っている。加えてまだ完成には至っていないが、クーラー等の設置を行っている。また、ひとり暮らしの高齢者の対策は、即効性のあるものについてはまだであるが、しかし地域の民生委員さん等を通して、予防に十分注意するようにとの指導は実施している。

松村 潤議員 高齢者の熱中症の重症化、死亡するリスクは若い人に比べ3倍以上に高まると研究結果も発表されている。2011年版高齢者白書では、高齢者は血縁中心に人間関係を構築し、近所や友人との関係が希薄である。社会的孤立が進んでいる実態が明らか

になったと分析している。これからますます孤立化が進む状況の中で、常日ごろから隣近所の声かけ運動を行政から積極的呼びかけ、安否確認の仕組みを作るべきだ。もう一つは、高齢者は、暑さ寒さを感じする機能が衰え、敏感に反応しない。クーラーをかけると関節が痛むといった夜間の使用を控える人も増えている。こういうひとり暮らしの高齢者に対し、ボタンを押せば数値で危険度を知らせる携帯型熱中症計を配布し、自分で自己管理する方法を考えてあげるべきだ。ソフト面とハード面からの予防対策が必要だと思うが。

効果的なものを 十分研究

町長 高齢者の孤立化の中で、ひとり暮らしの人に対し、安否確認を中心とした声かけ運動を日常から行なうことは大変大切なことである。隣近所の連携意識を

高めることからいっても最も重要なことだと思っている。積極的に行っていくことには同感である。次に熱中症対策の中で具体的に携帯型熱中症計との意見だが、熱中症対策として効果的なものということなので十分研究しつつ、予算のこともあり、十分考慮した上で今後考えていく。



携帯型熱中症計



その他の一般質問
・防災減災対策について

土地利用計画の見直しについて

神谷長平議員

邑楽町は、

市街化区域及び市街化調整区域の指定が、昭和52年8月31日に都市計画決定された。その後、3回にわたり区域の変更等が行われてきた経緯がある。町の核形成推進について、第五次総合計画では、市街化区域の拡大と検討が明記されている。これらについて、町では何か検討されているのか。

町長 市街化区域の拡大については、現在のところ話し合いは持っていない。

神谷長平議員

答弁を聞く

と非常に寂しく、残念である。この場所は、公共施設も大分整備されて、ようやく町の顔ができた。その後肉づけをどのようにするのか、私も3年間、町長の施策がどのような形で出てくるか楽しみに待っていた。都市計画マスタープランでは、この地域は新市街地に

位置づけされている。既成

市街地南側のエリアで、複合的な都市機能の集積により、新たな市街地を發展させる区域として設定されている場所である。公共施設の集中化が図られている。ぜひ、早急に検討・調査をお願いしたい。

慎重に行っていく

町長

平成19年6月に、こ

邑楽町の活性化策について

坂井孝次議員

「町を元気

にするにはどうしたらよいか」との観点から聞きたい。日本は今、経済的不況の中にあり、どこへ行っても元気な話は聞かれない。こう

の地区の開発計画に向けた検討を行った経緯がある。商業地域や他の公共施設等のはりつけによって、今後議員が言った状況も生まれてくる。特に商業について

は、沿道サービス業に限定されると思う。ただ最近、農業振興地域の整備に関する法律の適用除外が大変厳しくなっているので、農業振興地域、それから市街化区域と調整区域についてのすみ分けも慎重に行っていく必要がある。

その他の一般質問

・工場誘致と雇用について
・いじめと教育方針について

町を明るくする 目標の設定を

総務課長

年度初めにおい

て、町の施政方針に基づき目標を立てて取り組んでいる。産業振興課では、「地産地消推奨店の認定を増やす」。生活環境課では、「ごみの減量化」「交通事故を減らす」などがある。どうしても事務的な活動目標になる傾向にある。これからは



群馬県1位の貸出率を誇る邑楽町立図書館

坂井孝次議員

ごく最近、

町を明るくするような目標の設定を期待したいと思う。

邑楽町図書館で本を借りた。「邑楽町の図書館は県下一番のサービス」との評価を聞いている。これだけ素晴らしい実績を上げた職場では、どのような目標を立ててこられたのか。

生涯学習課長

町立図書館

は平成7年1月に開館し、開館4年目の平成11年から昨年度まで12年間連続で、

町民一人当たりの貸出率が群馬県1位となっている。「資料を求めて来館した人を手ぶらで返さない」を目標に取り組んできた結果が実績になっていると考えている。

坂井孝次議員 文部科学省から表彰されたと聞いているが、町から報償とかあったのか。

生涯学習課長 表彰や実績に対して、「おめでとう」という言葉をいただいた。

坂井孝次議員 今後どのような考えで図書館運営を行っていくのか。

教育長 これからも来館された人を「手ぶらで返さない」を目標にしていきたいと思う。そして職員の笑顔の対応と、「またいきたい」という気持ちになれるような対応を思っている。

坂井孝次議員 「手ぶらで返さない」という、だれでもわかりやすい目標が非常によかったと思う。こういうことを成し遂げた館長や

職員の方々が、問題を抱えているところで、こうした成功例を教えることによって人が育つと思う。町を元気にするには、やった仕事の評価されるような環境を町自体がつくるべきだ。こういう厳しい時期には、モチベーションがあがるような報償制度を十分に活用すべきだと思うが、そのような報償制度をぜひつくっていただきたい。

総務課長 顕著な功績を上げた職員に対し、賞金や金品を与える報償制度はない。しかし、他の職員の模範として推奨に値する業績があった者を表彰する邑楽町職員表彰規定がある。役場の仕事はグループで行っており一個人の実績や業績は判定しにくい、この規定を運用しながら職員のやる気を起こしていく必要がある。

町長の公約と一般行政、教育行政、委員会等々と議会について

小沢泰治議員 8月に大竹

教育長が誕生したが、誠におめでたいことである。教育行政をよろしくお願いしたい。私もPTA活動に長く携わり、当時はいろいろお世話になった。まず、教育長に聞きたい。幼稚園や小学校、小さいときが大事かと思う。うそをついたり、人をだましたり、知恵の進んでいる子はいろいろあるかと思う。そういうことに

つき、先生の立場あるいは今の教育長という立場からして、どのような考えをお持ちか。

教育長 うそをついたり、人をだましたりとか、そういう人間としてやってはいけないことについては、教師として日頃の指導はもちろん、もしそういうことをやってしまった場合は、素直な気持ちで謝るといふことも大切だと考えている。

小沢泰治議員 国政の現総理大臣ではないが、1年生議員の時から4年4カ月間、「ノーサイド」の立場で議員活動をさせていた。町民のためになるのはどういふことか。いつも念頭におきながら務めさせていた。一般質問も何回もさせていた。議会では、トップはどういう考えを持っているか。邑楽町をどのように導いていくのか。邑楽町全体の発展のために尽くすが町長以下役場職員の仕事であり、議員もそのとおりだと思う。当時のあなたは議員として、最高裁の判例で「議会内で議員を訴えるのはふさわしくない」と出ているのに、一人あたり100万円の慰謝料を求め、6人の議員を訴えてしまった。このことについて聞きたい。

町長 そのときの判断は、私みずからした。信念に基づいてやったということでご理解いただきたい。

小沢泰治議員 町長の「退職金1400万円いただき

ません。0円。」のビラ。信憑性のある外部の組織の人、群馬県知事や前橋市長まで持ち出し、投票前に何度何度もカラーコピーを配り、町民を欺き、だまし、投票行動に走らせたが、これを見てどう思うか。

町長 後援会で議論し、私も認めたとおり公約に掲げたことであるが、この3月はその公約についてはできないと申し上げた。

小沢泰治議員 組織の体制ができず、また首長がだまして当選してきた。そんな邑楽町が強くなれるわけがない。事務事業については、75%と町長は答えたが、公約に掲げた事業執行については、回答しなかった。残されたあと3カ月間、何をしたいか聞きたい。

粛々と努力する

町長 総合計画に基づいて、その時にあわせて行うことも大切な事業と認識し

ている。残された期間、肅々とその推進に向かって努力する。

その他の一般質問
・ 広域行政(東毛・県・その他)について

介護高齢者政策について

塩井早苗議員 介護保険法が施行され11年が過ぎた。制度が住民の中に深く浸透しているのを感じる。高齢者の多くは、「住み慣れたところでできる限り暮らした



ますます元気教室

い「何でもない日常を続けたい」という希望を持っている方は多いと感じる。そこで、居宅訪問系サービスの充実とこの制度を維持するため、利用の現状とア

ンケート結果の報告を聞きたい。

保険年金課長 居宅サービスのの中には、訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハビリ・居宅療養管理指導の5種類のサービスがある。平成22年度利用実績は、延べ3195人である。

要介護の方の利用が減少傾向にあり、要支援の方の利用は年々増加している。アンケート調査によると約69%の高齢者の方が、自宅での介護を望んでいる。たとえ寝たきりになっても自宅での介護を希望すると答えた方が45%である。

塩井早苗議員 介護高齢者の意向を支えるには、仕組みづくりが必要である。さわか福祉財団では、「包括ケア」という一人ひとりの尊厳を支えるための仕組みづくりを推進している。地域における包括的なネットワークづくりである。そこで、在宅を支えるためのボランティアの育成・地域包括支援センターの人員の補充・地域密着型介護保険事

業所の役割の強化についてのビジョンは。

サービスの充実に 取り組む

保険年金課長 地域包括支援センターの役割は、範囲が広く責任のある内容である。人事担当課とも相談して充実していきたい。保険・医療・福祉・介護が一体となつて在宅生活を支えるサービスの充実に取り組みたい。そして、地域での見守りや支え合いも非常に大切なことである。

塩井早苗議員 介護保険施設のショートステイを障害者のショートステイとして、有効利用できないか。

保険年金課長 「小規模多機能事業所に登録した障害者が、自立支援法に基づき利用できる」という通知が厚生労働省から出ている。受け入れる事業所の要件や条件、職員配置等の基準をクリアすれば可能である。国、県の指導を仰ぎながら進めて行きたい。

その他の一般質問
・ 障害者対策について
・ 保育園問題について

住宅リフォーム

助成制度について

大野貞夫議員 住宅リフォーム助成制度とは、住宅のリフォームを行った場合、その経費の一部を自治体が助成する制度で、住宅の改善を容易にすると共に中小業者の仕事興しにつながり、その経済効果は助成額の数

十倍にも上っている。昨年の6月議会でも取り上げたが、その後の考え方を聞きたい。

町長 町内を見た時に、30年、40年前に建てた住宅が多い。加えて3・11の震災による中で、大幅に改修を

されている家もあるようだ。その点では、行政も負担をしていくことについては、必要性はあると思っている。

大野貞夫議員 この制度について、他市町村の具体的な説明をお願いしたい。

産業振興課長 本年6月30日現在、全国で386自治体が行っている。県内では、9市町村で実施している。自己用の住宅の修繕、増築等が主な工事内容。町内の事業所、小規模の事業所に対しての助成と、最近の景気の低迷、あるいはエコの意識の高まり等、地域経済の活性化を含めて、その必要性を各市町村が考えている。

大野貞夫議員 これに関連し、町でも住宅用の太陽光発電、このシステムを実施しているが、

これらの現状と実績は。
生活環境課長 町の補助制度は、条例に基づき平成27年3月まで実施の予定。平成22年度の実績は、71件である。

大野貞夫議員 なぜ、これだけ数が多くなってきたか。一つには地域の活性化。今、中小零細の人達の仕事がないという中で、行政として手厚く目を向けて取り組みをする。このことが、地域の活性化の起爆剤になっている。いかなければ、町民の税金を町内で循環させる制度と言ってもよいと思うが。

町長 予算が許せば、その様な事業に取り組みたい。町においても、小規模の土木工事、建築工事等については、小規模契約登録制度を取り入れている。その制度でいくと、指名競争入札を行わずに受注できる。町内業者の方にも利用して、その制度の活用を図っていただければと思う。

大野貞夫議員 町長の話の中にもあるように、この財源をどうするかという問題になってくる。私が二年前の町議補欠選挙時、町の財政調整基金は13億7000万円だった。平成23年度末、9月補正までの予算計上を含む見込額では17億6000万円、非常に増えている。そのためのお金がなければ、それを使ってもよいと思う。

住宅用太陽光発電



前向きに考えたい

町長 私も貯金をするのがベターとは思っていない。町民へのサービスの提供と合わせてバランスが必要とされている。町独自として、財政の許す中でスタート

町長の政治姿勢と政治責任

町長 私も貯金をするのがベターとは思っていない。町民へのサービスの提供と合わせてバランスが必要とされている。町独自として、財政の許す中でスタート

町長 私も貯金をするのがベターとは思っていない。町民へのサービスの提供と合わせてバランスが必要とされている。町独自として、財政の許す中でスタート

小島幸典議員 町長は議員時代

町長 そのとおり。

小島幸典議員 「邑楽町は合併しない

町長 破綻しなくてよかった

破綻しなくてよかった

町長 破綻しなくてよかったと思っている。

とされているので、前向きに考えていきたい。

その他の一般質問

・地域防災計画について
・公約について

小島幸典議員 私もよかったと思う。つぶれたら大変なことだ。新聞にも報道されたが、元課長が水道料金未納を他人に漏らした疑いで議会が紛糾した。その時、7、8年も前のことを漏らしたと言っても、果たしてそれにより何の被害があったか確かめ、真相究明をするために、私は調査委員会をつくることを提案した。本会議で「町長どうするのだ」という質問に、簡単に「処分する」と言った。人に相談しないで即決で決めたしまった。今の時代、その人の名誉と人権を考えると衝撃的だった。それによりショックを与えた奥さん

とされているので、前向きに考えていきたい。

議会の動き

8月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 総務教育常任委員会、全員協議会
- 9日 第3回臨時会、全員協議会
- 21日 おうら祭り
- 25日 議会運営委員会、総務教育常任委員会
- 26日 産業福祉常任委員会、全員協議会

9月

- 9月6日～16日 9月定例会
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会
全員協議会、広報委員会)
- 22日 戦没者追悼式
大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 26日 群馬県町村議会議長会議会広報研修会

10月

- 2日 町民体育祭
- 4日 議会広報委員会編集会議
邑楽郡町村議会議長会スポーツ大会
- 12日 太田市外三町広域清掃組合議会
- 18日 議会広報委員会校正会議
- 24日 邑楽館林医療事務組合議会
館林地区消防組合議会
- 26日 議会運営委員会
群馬県町村議会議長会議員研修会

議会を傍聴しましょう

次の議会は、**12月22日から27日**を予定しています。

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。

役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したもの)は、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム(ヤングプラザ)に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/gikai>

詳しくは、議会事務局まで

☎88-5511 (内線300)

や子ども達に町長は謝ったのか。

町長 謝罪はしていない。当時、元総務課長の報告と本人に事情聴取を行い、一度は調査委員会の立ち上げを考えた。しかし、総務課長の報告を勘案して、グレーゾーンと考え、降格処分を行った。その後、本人から依願退職の申し入れがあり、それを認めた。

小島幸典議員 いくら課長が調べたと言っても、町長が指揮官である。第三者機関、例えば弁護士を委員長に委員会を立ち上げ、任せればよい。それならば誰も文句を言う人はいない。

町長 降格させた理由は、総務課長の報告を受けたことと議会を混乱させたこと。

与の50%削減案を私が出した。その賛成討論の中でも、一言も退職金0円と1400万円のことは話していない。借金・不納欠損・国民健康保険税の滞納・第3子出産祝金などいつも町の財政のことを考えて一般質問を行っている。私の信念は、弱者に対して何ができるか。功成り名遂げた人は、「もつとちようだい」ではなく、言葉の力も含めて「どうぞ

もつと使って下さい、弱者のために」と常に訴えている。

町長 出産祝金の話は、出産時期が4月1日以降になつた場合、支給がないかどうかは不明なので答弁できないので申し訳ない。妊娠した時点で明記がされていれば、議員が言われるような議論が成り立つが。その前の決まりがわからないので、はつきりしたこと

を申し上げられない。

小島幸典議員 公約で第3子出産祝金を20万円に復活すると言い切っているが、**町長** 議員にも相談したが、予算の上程ができなかった。で、実行はできない。

その他の一般質問

- ・町道18号線と19号線の早期整備運用を
- ・邑楽町公民館について

わたしのふるさと

【山形県鶴岡市】

菅原 勝男
(十三坊塚・6区)



山形県旧大泉村の風景

私の故郷は山形県鶴岡市です。と言っても旧大泉村時代の出身で、自然豊かな山間部です。

二度の町村合併を経て、現在に至っております。西には鳥海山、東に朝日岳、北に出羽三山、つまり月山・羽黒山・湯殿山に囲まれた自然豊かな土地で育ちました。余談であります、日本の守護神三神社の一つで、他の二社は東京都の明治神宮と佐賀県

唐津市呼子町にあります田島神社があり、今でも大勢の参拝者で賑わっている様です。

私の故郷も冬には2mくらい雪が積る地域で、春の来るのが非常に待ち遠しく、懐かしい思いが蘇ります。

春の山菜で一番早く出て来るのがフキノトウです。これを山形の方言でバンケと言います。何でも一番早い春の香りと言うことで「番香^{ばんけ}」と言うそうです。

また、秋には四方が紅葉に染まりそれは見事です。今でも春の山菜採りから秋のキノコ採りまで年に7、8回は帰ります。

申し遅れましたが、私は邑楽町にお世話になって40年になります。この地域は風水害がなく大変住みやすく、非常に恵まれた場所だと思います。山形方面にお出かけの折は、出羽三山へお詣り下さい。

編集 後記

8月末から9月5日にかけて、紀伊半島を中心に多くの犠牲者を出した台風12号は、県

内においても農作物や家屋等に変大な被害をもたらしました。被災された多くの皆さまに、心からのお見舞いを申し上げます。

さて、町議会ですが、去る9月6日から16日までの11日間、平成23年第3回定例会が開かれ、多くの議案の審議、表決がなされました。一般質問においては、10人の議員が町政に対し、熱心な質問と提案を行いました。行政と議会は車の両輪です。一体となつて魅力ある町づくりを目指していきます。

議会の様子を正確にお伝えできるように、広報委員一同、努力・精進してまいります。今後とも議会だよりのご愛読をよろしくお願い申し上げます。

(松村記)